

2018年度 第1回桃山学院大学 キリスト教講演会

WORLD創設 プレマ・シャンタ・クマリ 氏

通訳：山下明子 氏

テーマ「ダリットの女性たちの自立をめざして」

インドには「カースト制」と呼ばれる社会的身分制度があります。
「ダリット（不可触民）」とはカースト制の枠外に置かれ、
最も差別を受けている人々の自称です。

総人口約13億人のインドにおけるダリットの人口は3億人以上、その大部分は極度の貧困状態です。

プレマ・シャンタ・クマリ氏は、ダリットの女性活動家として、農村女性訓練センターの設置や、ダリット居住区を中心に自助グループをつくってきました。ダリット以外の貧困女性にも対象を広げ、10年間で約1500のグループをつくり、それを村、地区ごとに組織化されています。

今回はこれまで行ってきた活動内容について詳しくお話しいたします。同行されるご息女のセリン医師は、ダリットの女性と子どもの健康のために意識啓発活動を行うなど、プレマ氏の活動をサポートされています。



プレマ・シャンタ・クマリ氏

プレマ・シャンタ・クマリ

南インドの誇り高いダリット女性、現在68歳。

1980年に30歳で「クリスチャン・ダリット解放運動」の創始者の一人に。それ以降、クリスチャン・ダリットの女性活動家として国際的、草の根的にも献身し、今日に至る。1985年には「全国ダリット女性連盟」を創設。同じく1985年、WOLD（Women's Organization for Liberation and Development 女性の解放と発展のための組織）を創設。

プレマ氏のご息女、セリン・ヘマ・マリー二さんは医師で精神療法士。WOLDの農村センターでは、薬草や有機栽培、自然食の普及と女性の健康のための意識啓発に力を入れている。



セリン・ヘマ・マリー二医師

【通訳】山下明子（やました あきこ）

1984年よりインドでの調査を行う。専門領域は、フェミニスト神学、宗教学、人権論、キリスト教女性センターの「南インドのダリット女性運動と連帯する二つの会」代表。

関連の著書に、『インド・不可触民の女たち』（明石書店、1986年）『アジアの女たちと宗教』（解放出版社、1997年）、『インド・ダリットの女たち 明日を拓くための自助グループづくり』（かんよう出版、2018年）他。

日時：2018年10月1日（月）開演13時20分 開場13時
会場：桃山学院大学チャペル（聖救主礼拝堂）先着250名（事前申込不要）

【お問合せ先】 学部事務課 チャペル事務室

TEL 0725-54-3131（代表） FAX 0725-54-3210

平日9時～17時（土日祝休） christian@andrew.ac.jp

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1

◆泉北高速鉄道「和泉中央駅」より歩行者専用道路（トンネル・陸橋・吊り橋）で約12分

◆和泉中央駅発3番のりば「美術館前行き」南海バスで「緑ヶ丘団地」下車すぐ

※ご来場は公共交通機関をご利用ください。

世界が変わる体験がある。

桃山学院大学
St. Andrew's University

